

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年06月04日

計画の名称	川西市低炭素型複合施設整備事業												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成30年度 (2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	川西市												
計画の目標	本市の中心市街地は、市の南部に位置し、鉄道などの交通機関が集中し、大阪市の中心部に近く利便性が高いという大きな“強み”があるが、昭和30年代後半からスプロール現象がはじまり、住環境や防災面で課題を抱えていたため、市街地再開発事業を実施し、現在では、複数の再開発ビルが集中的に立地し、便利なまちとして知られているが、近年の経済情勢、消費の落ち込みや少子・高齢化の進展、まちの個性や魅力が少ないことなどから、まちの活力が低下している。このような中、老朽化が進み耐震性の乏しい公共施設及び中央北地区土地区画整理事業区域内の保健・福祉関連施設を本施設内に再配置する。既存施設を一か所に集約するだけでなく、福祉・保健機能と文化関連機能が連携し、利用者の利便性が高まるよう配慮し、積極的なエリアマネジメントにより賑わいと交流を促進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,690	A	2,690	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	・暮らしにぎわい再生事業における、川西市低炭素型複合施設整備地区区域内に於いて、公民館、文化会館、保健・福祉関連施設を集約した複合施設を建設することにより賑わい空間の創出を目指す。 ・川西市低炭素型複合施設整備地区暮らしにぎわい再生事業区域内における複合施設の利用者及びエリアマネジメントによる、にぎわい創出を目的とした催しやイベントへの来場者数を測定する。	0人	0人	85000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29				
配分額 (a)	326				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	326				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	326				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					